

E U

2020年11月12日

海外調査部

■コロナ危機による経済の悪化が懸念

2019年のEUの実質GDP成長率は1.5%、そのうちユーロ圏は1.3%だった。EUおよびユーロ圏の成長率は、2017年（ともに2.6%）と比較するとそれぞれ1.1ポイント、1.3ポイント低下した。需要項目別では、GDPの55.0%を占める民間最終消費支出の成長率への寄与度は0.8ポイントだった。2019年はGDPの21.3%を占める総固定資本形成の成長率への寄与度が、需要項目の中で最大の1.0ポイントとなり、前年より0.4ポイント上昇した。輸出の伸び率が前年比0.5ポイント低下し2.9%に減速した一方、輸入の伸び率は0.6ポイント上昇し3.9%となった結果、純輸出の成長率への寄与度は、2018年の0.01ポイントから、マイナス0.3ポイントに転じ、経済成長を抑制した。

2020年の経済見通しについては、欧州委員会は2020年7月7日に発表した夏季経済予測において、EU27カ国の実質GDP成長率をマイナス8.3%、ユーロ圏についてはマイナス8.7%と予測している。EUでは、2020年2月以降新型コロナウイルスの感染が各加盟国に拡大し、新規感染者数は4月初旬に上半期のピークに達した。感染拡大防止策として、多くの国で厳しい移動制限や店舗営業の制限、生産活動の停止などの措置が実施された（ジェトロ世界貿易投資報告2020年版 第II章第4節(2)7.参照）ことに伴い、経済の悪化が懸念されている。

■EU域内・域外への輸出入は堅調に推移

EU統計局（ユーロスタット、2020年7月28日時点）によると、2019年のEUの貿易は、輸出が前年比2.3%増となる5兆6,136億4,400万ユーロ、輸入が2.1%増の5兆5,573億4,400万ユーロと堅調に伸びた。EUの域内貿易と域外貿易の構成比は、輸出が域内63.7%、域外36.3%、輸入が域内63.0%、域外37.0%だった。

EUの2019年の域内貿易は、輸出が前年比1.3%増の3兆5,749億1,200万ユーロ、輸入も1.3%増の3兆5,005億5,100万ユーロとなり、前年の伸び率（輸出入ともに

表1 EUの需要項目別実質GDP成長率

(単位：%)

	2018年	2019年				2020年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
EU (注③)							
実質GDP成長率	2.0	1.5	1.8	1.4	1.5	1.2	△2.6
民間最終消費支出	1.7	1.5	1.5	1.5	1.7	1.5	△3.3
政府最終消費支出	1.1	2.1	1.8	2.0	2.4	2.3	1.1
国内総固定資本形成	2.5	5.1	4.0	7.4	3.2	5.6	1.2
財貨・サービスの輸出	3.4	2.9	3.5	2.3	3.2	2.5	△2.8
財貨・サービスの輸入	3.3	3.9	5.1	4.7	2.9	2.9	△0.7
ユーロ圏							
実質GDP成長率	1.9	1.3	1.5	1.2	1.3	1.0	△3.1
民間最終消費支出	1.4	1.3	1.2	1.3	1.6	1.3	△3.9
政府最終消費支出	1.2	1.8	1.5	1.5	2.2	1.9	1.0
国内総固定資本形成	2.4	5.9	4.3	9.1	3.1	6.7	1.5
財貨・サービスの輸出	3.5	2.5	3.3	2.3	2.7	1.8	△3.5
財貨・サービスの輸入	3.0	4.0	3.9	5.6	2.8	3.6	△0.8

[注] ①四半期の伸び率は前年同期比、季節調整値。

②民間最終消費支出には対家計非営利団体（NPISH）消費支出も含む。

③EUの2020年第1四半期は、英国離脱後の27カ国データ。

[出所] EU統計局（ユーロスタット）

表2 EUの主要品目別輸出入（域内貿易）

（単位：100万ユーロ、％）

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	1,300,541	1,337,850	37.4	2.9	1,270,527	1,312,827	37.5	3.3
雑製品	959,009	962,169	26.9	0.3	910,306	909,975	26.0	△0.0
化学工業製品	565,822	571,194	16.0	0.9	572,838	578,132	16.5	0.9
食料品・飲料およびたばこ	349,722	359,245	10.0	2.7	348,006	358,355	10.2	3.0
鉱物性燃料・潤滑油など	210,648	203,624	5.7	△3.3	211,167	201,246	5.7	△4.7
原料別半製品	115,177	111,029	3.1	△3.6	121,705	116,742	3.3	△4.1
合計（その他含む）	3,528,145	3,574,912	100.0	1.3	3,456,352	3,500,551	100.0	1.3

〔注〕①各企業のインボイス報告などに基づく。

②輸出がFOB、輸入がCIFのため、輸出入金額が一致しない。

〔出所〕EU統計局（ユーロスタット）

表3 EUの主要品目別輸出入（域外貿易）

（単位：100万ユーロ、％）

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	810,909	829,225	40.7	2.3	622,805	656,874	31.9	5.5
雑製品	439,085	458,842	22.5	4.5	496,509	506,742	24.6	2.1
化学工業製品	355,259	389,401	19.1	9.6	204,348	218,339	10.6	6.8
食料品・飲料およびたばこ	121,889	135,160	6.6	10.9	112,779	115,657	5.6	2.6
鉱物性燃料・潤滑油など	114,932	105,115	5.2	△8.5	411,638	380,271	18.5	△7.6
原料別半製品	50,987	52,223	2.6	2.4	81,704	83,126	4.0	1.7
合計（その他含む）	1,958,202	2,038,732	100.0	4.1	1,984,550	2,056,793	100.0	3.6

〔出所〕EU統計局（ユーロスタット）

5.3%増）から鈍化した。ユーロ圏では、輸出が1.0%増、輸入が1.1%増だった。

EUの2019年の域外貿易は輸出が前年比4.1%増となる2兆387億3,200万ユーロ、輸入は3.6%増の2兆567億9,300万ユーロだった。前年の伸び率（輸出4.2%増、輸入7.0%増）から輸出はほぼ横ばい、輸入は鈍化した。

2019年の域外貿易を品目別にみると、最大輸出品目の機械・輸送機器類（構成比40.7%）が前年比2.3%増の8,292億2,500万ユーロとなった。化学工業製品（19.1%）は、医薬品（9.7%）が主要輸出先の米国向けで23.0%増、中国向けで29.3%増等と大幅に伸びた結果、全体で9.6%増となった。伸び率が最大となったのは食料品・飲料およびたばこ（6.6%）で、食品輸出の11.9%を占める中国向けが53.0%増、10.2%を占める米国向けも12.3%増と大きく伸びたことを主因として、全体で10.9%増となった。

輸入では、最大品目の機械・輸送機器類（構成比31.9%）が前年比5.5%増、雑製品（24.6%）が2.1%増と堅調だった一方、鉱物性燃料・潤滑油など（18.5%）が7.6%減となった。

EUの2019年の域外貿易を国別にみると、輸出はEU域外では最大の輸出相手国である米国向け（構成比22.1%）が前年比10.6%増の4,496億400万ユーロと大きく伸びた。輸出額で上位3品目である医薬品（15.9%）、道路走行車両（10.7%）、原動機（6.9%）はそれぞれ23.0%増、0.5%増、19.7%増となり、医薬品と原動機の伸びが輸出全体の伸びに貢献した。米国に次ぐ輸出先である中国向け（11.0%）は6.6%増の2,251億7,500万ユーロとなった。最大輸出品目の道路走行車両（14.7%）は前年比4.9%減と、前年の1.3%増から減少に転じた一方、電気機器（11.1%）と医薬品（6.0%）がそれぞれ17.6%増、29.3%増と

表4 EUの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU域内	3,528,145	3,574,912	63.7	1.3	3,456,352	3,500,551	63.0	1.3
ユーロ圏内	1,947,275	1,967,460	35.0	1.0	1,921,420	1,942,056	34.9	1.1
EU域外	1,958,202	2,038,732	36.3	4.1	1,984,550	2,056,793	37.0	3.6
合計	5,486,347	5,613,644	100.0	2.3	5,440,902	5,557,344	100.0	2.1
EU域外								
EU加盟候補国								
トルコ	101,840	99,960	4.9	△1.8	94,059	99,038	4.8	5.3
スイス	77,144	74,005	3.6	△4.1	76,192	80,135	3.9	5.2
ロシア	156,266	160,617	7.9	2.8	109,233	132,751	6.5	21.5
アジア大洋州	85,102	90,802	4.5	6.7	168,929	157,170	7.6	△7.0
中国	568,983	585,275	28.7	2.9	759,326	802,738	39.0	5.7
ASEAN	211,325	225,175	11.0	6.6	395,960	420,676	20.5	6.2
シンガポール	96,954	96,874	4.8	△0.1	140,687	143,730	7.0	2.2
タイ	37,048	35,153	1.7	△5.1	21,135	20,400	1.0	△3.5
マレーシア	15,153	14,945	0.7	△1.4	22,989	23,098	1.1	0.5
日本	14,147	14,507	0.7	2.5	25,704	27,100	1.3	5.4
韓国	64,864	68,528	3.4	5.6	70,080	73,828	3.6	5.3
インド	50,335	47,600	2.3	△5.4	50,582	52,006	2.5	2.8
オーストラリア	45,658	43,343	2.1	△5.1	45,936	48,254	2.3	5.0
北米	35,961	35,731	1.8	△0.6	11,587	17,950	0.9	54.9
米国	448,649	494,773	24.3	10.3	301,793	330,724	16.1	9.6
カナダ	406,582	449,604	22.1	10.6	270,092	294,884	14.3	9.2
湾岸協力会議 (GCC) 諸国	41,402	44,313	2.2	7.0	31,193	35,181	1.7	12.8
アラブ首長国連邦	91,267	95,349	4.7	4.5	54,048	50,828	2.5	△6.0
ブラジル	37,829	38,744	1.9	2.4	10,997	9,196	0.4	△16.4
南アフリカ共和国	33,564	34,467	1.7	2.7	31,764	29,474	1.4	△7.2
合計 (その他含む)	23,904	25,119	1.2	5.1	24,110	26,520	1.3	10.0
合計 (その他含む)	1,958,202	2,038,732	100.0	4.1	1,984,550	2,056,793	100.0	3.6

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
 ②EU貿易統計の金額は、輸出がFOB、輸入がCIF。そのため域内貿易で輸出入金額が一致しない。
 ③EU加盟候補国は、トルコ、セルビア、モンテネグロ、北マケドニア、アルバニア。
 [出所] EU統計局 (ユーロスタット)

大幅に伸びたほか、原動機 (7.6%) も5.8%増と堅調に伸びた。また、スイス向け (7.9%) は2.8%増だった。

EUの2019年の域外貿易の輸入では、最大輸入元の中国 (構成比20.5%) から前年比6.2%増の4,206億7,600万ユーロと堅調に伸びた。主要品目のうち電気機器 (13.4%) が16.5%増と特に大きく伸び輸入を牽引したことに加え、通信機器 (16.6%) も3.4%増と堅調だった。一方、事務用機器 (11.7%) は1.0%減と伸び悩んだ。続く米国 (14.3%) は9.2%増と、輸出同様大きく伸びた。最大品目の原動機 (12.9%) が6.5%増、医薬品 (10.6%) が7.2%増となった一方、航空機を主とするその他の輸送機器 (7.7%) は6.8%減と、前年の14.6%減からは少し回復したものの減少傾向が続いた。さらに、ロシア (7.6%) は、輸入の66.8%を占める鉱物性燃料が9.1%減と、前年の18.9%増から大きく落ち込んだ結果、2019年は7.0%減となった。

■英国のEU離脱をめぐる動向が2019年の貿易に影響

英国を除くEUの域外貿易に占める対英貿易の割合は、英国がEU離脱の是非を問う国民投票を実施した2016年以降減少傾向が続き、2016年には第1位の米国とほぼ同列の第2位であったのが、2018年には中国に逆転され、第3位に後退した。2019年の英国を除くEUの対英貿易の傾向をみると、対英輸出

では前年比0.1%減となった。

当初の英国のEU離脱期限であった2019年3月29日と、2度目に延期された離脱期限の10月31日直前には、離脱後の混乱に備えた備蓄や在庫の積み増しが集中し、飲食料品、化学品、工業製品を中心に、英国を除くEU・英国間貿易にも大きな影響を与えた。英国を除くEUの対英輸出では3月に前月比13.5%増、10月に9.2%増と大きく伸び、反動で4月と11月はそれぞれ28.2%減、17.7%減に落ち込んだ。対英輸入も同様に、それぞれ2019年3月に20.1%増、10月に10.7%増と大幅に伸び、直後の4月と11月にはそれぞれ25.8%減、12.9%減となった。

英国は最終的に2020年1月31日に正式にEUを離脱した。EU離脱後のビジネス環境の激変緩和措置として2020年12月末を期限とする移行期間が設けられ、英国はEUの単一市場と関税同盟にとどまっている。EUと英国の間では、移行期間終了後の将来関係についての交渉が続いているが、現時点で移行期間終了までに将来関係にかかる新協定が発効する見通しは立っていない。欧州委員会は前述の夏季経済予測において、英EU間の将来関係についても、交渉の結果次第では経済予測の下振れリスク要因となり得ると述べている。

■対内、対外直接投資ともに前年から大きく回復

国連貿易開発機構（UNCTAD）によると、EU加盟国への2019年の対内直接投資（EU加盟国間の投資も含む）は、オランダ、アイルランド、英国、ドイツ、フランス等が牽引し、前年比7.7%増となる4,468億9,600万ドル（国際収支ベース、ネット、フロー）だった。

2019年末時点のEU加盟国の対内直接投資残高は11兆689億8,300万ドルだった。2019年のEU加盟国へのグリーンフィールド投資件数の合計は6,913件、また同年のEU域内企業を対象とするクロスボーダーM&Aの合計は3,005件となり、グリーンフィールド、M&Aともに件数がEU域内で最も多かったのは英国だった。

大型M&A案件としては、2019年7月の英通信大手ボーダフォンによる、米メディア大手リバティ・グローバル傘下のユニティメディアとUPC買収を通じた欧州4カ国（ドイツ、チェコ、ハンガリー、ルーマニア）のケーブルテレビ・ブロードバンド事業の取得（103億ユーロ）などがあった。

UNCTADによると、EU加盟国の2019年の対外直接投資（EU加盟国間の投資も含む）の合計は、前年比31.8%増の4,552億4,500万ドル（国際収支ベース、ネット、フロー）だった。2019年末時点の対外直接投資残高は12兆5,738億300万ドルとなった。オランダが前年の引き揚げ超過から一転、1,246億5,200万ドルとなり、EU域内で最大となった。また、同年のEU域内企業によるクロスボーダーM&A件数は2,399件で、英国企業、フランス企業、ドイツ企業の順に件数が多かった。大型案件としては、2019年6月発表のドイツの半導体大手インフィネオン・テクノロジーによる米国の同業サイプレス・セミコンダクター買収（90億ユーロ）、10月のフランスIT大手ダッソー・システムズによる米国の同業メディデータ買収（58億ドル）などがあった。

域内の大型案件としては、7月のオランダの大手食品デリバリー会社テークアウェー・ドットコムと英国の同業ジャスト・イートの合併（62億ポンド）、4月のフランスの航空宇宙大手タレスによるオランダIT・ソフトウェアのジェムアルト買収（48億ユーロ）などがあった。

■対日貿易は日EU・EPAが後押し

2019年の対日貿易は、輸出が前年比5.6%増の685億2,800万ユーロ、輸入が5.3%増の738億2,800万ユーロ

口だった。2019年2月1日に発効した日EU経済連携協定（EPA）が両者間の貿易を後押しし、特に輸入は前年の2.3%増から3.0ポイント伸びた。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械・輸送機器類（構成比39.2%）は前年比5.7%増だった。そのうち、最大の乗用車（12.0%）は1.9%減、自動車用部品（2.0%）が15.0%減と前年のプラスの伸びから一転減少に転じたものの、航空機・関連機器（3.5%）が48.4%増、通信機器（1.5%）が38.9%増と大きく伸びた。化学工業製品（21.8%）は、2.4%増だった。自動車と並ぶ主力品目である医薬品（13.3%）が4.3%増と堅調に伸びた。32.4%増と著しい伸びを記録した飲料・たばこ（4.1%）は、ワインが12.2%増、スパークリングワインが18.8%増、ウイスキーが45.7%増と主力のアルコール飲料がいずれも大幅増となった。このうちワインとスパークリングワインについては、日EU・EPAの発効による関税撤廃が、EUの対日輸出を大きく後押ししたとみられる。

2019年の対日輸入は、機械・輸送機器類（構成比65.1%）が前年比2.9%増と堅調に伸びた。そのうち、乗用車（15.8%）は17.9%増、自動車部品（5.7%）が5.3%増、バイク（2.7%）も7.9%増と伸長した。いずれも日EU・EPAによる関税撤廃・削減等の効果も手伝って大幅に伸びたとみられる。また、飲料・たばこ（0.1%）は、飲料の5割以上を占めるウイスキーが21.1%増、15.5%を占める日本酒などの発酵酒が15.5%増と大きく伸びた結果、全体で19.1%増となった。

表5 EUの対日主要品目別輸出入〈通関ベース〉

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	25,403	26,856	39.2	5.7	46,703	48,065	65.1	2.9
化学工業製品	14,608	14,959	21.8	2.4	7,296	8,224	11.1	12.7
雑製品	9,903	10,478	15.3	5.8	8,365	8,758	11.9	4.7
原料別半製品	4,433	4,706	6.9	6.2	5,208	5,077	6.9	△2.5
食料品・動物	4,141	4,293	6.3	3.7	218	254	0.3	16.3
飲料・たばこ	2,126	2,815	4.1	32.4	76	90	0.1	19.1
合計 (その他含む)	64,864	68,528	100.0	5.6	70,080	73,828	100.0	5.3

〔出所〕 EU統計局 (ユーロスタット)

■日EU間の直接投資も好調

財務省によると、2019年の日本の対EU直接投資額は、前年比48.3%増となる7兆1,473億円だった。製造業が5兆8,711億円、非製造業が1兆2,761億円で、業種では化学・医薬の3兆6,398億円と輸送機械器具の1兆279億円が大部分を占めた。2019年の日本のEUからの直接投資受入額は前年比73.8%増となる1,097億円だった。電気機械器具、輸送機械器具でそれぞれ3,000億円強の投資があった一方、卸売・小売業、サービス業、金融・保険業、不動産業等で軒並み引き揚げ超過となり、非製造業が足かせとなった。

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp